

生活環境に対する住民意識と ソーシャルキャピタルの関連について

谷本真佑¹・南 正昭²

¹正会員 岩手大学助教 理工学部システム創成工学科 (〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目3-5)

E-mail:stani@iwate-u.ac.jp

²正会員 岩手大学教授 理工学部システム創成工学科 (〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目3-5)

歴史的街並みを活用したまちづくりが進められている盛岡市大慈寺地区では、地区内を横断する道路整備が計画されており、歴史的街並みの活用を図りつつ事業を進めるため、ワークショップ等による住民の意見把握が行われている。

本研究では、盛岡市大慈寺地区住民を対象にアンケート調査を実施し、地区全体の満足度と生活環境評価の関連性を分析するとともに、住民のソーシャルキャピタルによる関連性への影響を分析した。

分析の結果、住民による当該地区への評価は多様であり、地区全体の満足度と有意な関連性を持つ項目は全21項目中2項目に止まったものの、ソーシャルキャピタルの異なる回答者群で比較したところ、有意な関連性を持つ項目に差のあることが確認できた。

Key Words : questionnaire survey, social capital

1. はじめに

近年、我が国の地方都市においては、歴史や風土といった地区の特徴を活かしたまちづくりが進められている。盛岡市大慈寺地区でも、町家や寺院群を有する歴史的街並みを活かしたまちづくりが進められている。現在同地区では、住民の意見を活かしたまちづくりを進めるためワークショップ等が開催されている。本研究では、同地区内で実施した住民意識調査に基づき、大慈寺地区への関心や生活環境評価、将来イメージなど住民の意識を把握し、今後の計画の基礎資料とすることを目的とする。

2. 研究方法

(1) 研究対象地域

盛岡市大慈寺地区は、盛岡市の中心市街地東部に位置する(図1)。大慈寺地区は、江戸時代から北上川舟運の基点として、また、奥州街道と遠野街道、宮古街道が集まる交通の要衝として栄えていた。盛岡の玄関である惣門を構え、大店が軒を連ね繁栄してきた地区である。盛岡駅周辺や菜園地区の市街地形成に伴い、大慈寺地区は商業地から住宅地へと変貌してきたが、寺院群、青龍



図1 研究対象地域

水や大慈清水、酒蔵など多くの歴史的資源を有するとともに、町家が数多く残っており、市民主体の保存活用活動が行われている地域である。

大慈寺地区では現在、地区内を横断する道路の整備事業が計画されている。歴史的街並みの活用を図りつつ事業を行うべくワークショップ等で住民の意見把握が行われている。

平成27年国勢調査によると、大慈寺地区には約4,500人、2,200世帯が居住している。

(2) 調査実施概要

本研究では、大慈寺地区の生活環境に関する21項目に

ついでに評価等をたずねるアンケートを平成29年12月～平成30年1月にかけて実施した。調査対象地域は大慈寺地区まちづくり計画に含まれる地域を中心とした大慈寺地区全域（図1）であり、当該地域の中から無作為に抽出された1,011世帯にポスティングによるアンケート票の配布を行い、同封の返信用封筒により郵送回収する方法をとった。一世帯あたり1部の配布を行ったところ、237部の有効回答が得られた。回答者属性は表1の通りである。

(3) 分析方法

本稿では、各生活環境評価項目と総合満足度の関連性について分析を行った。調査項目については「満足（とても感じる）」「やや満足（やや感じる）」「どちらでもない」「やや不満（あまり感じない）」「不満（全く感じない）」の5段階で回答していただいた。また、「満足（とても感じる）」「やや満足（やや感じる）」の2項目を満足（肯定）側回答、その他3項目を不満（否定）側回答として集約し、ロジスティック回帰分析を行った。

さらに回答者自身の社会関係資本（ソーシャルキャピタル、以下「SC」）が、生活環境評価と総合評価の関連性に与える影響についても同様に分析した。SC関連の調査項目として「地域の一人とを感じるか」「地域の将来性を感じるか」などの5項目を設定し、各々に対し4～5段階で回答頂いた。回答結果を基にクラスター分析を行い、SCが高いと思われる回答者群と低いと思われる回答者群に分類し、回答者群別にロジスティック回帰分析を行った。

3. 分析結果

(1) 生活環境評価と総合満足度の回答傾向

生活環境評価の集計結果を図3に示す。住民の地域への満足度は自然環境、大気汚染や騒音の少なさ、治安、の順に高く、一方で車の運転しやすさ、歩道の歩きやすさといった項目で特に少ない傾向がみられた。特に少ない2項目は「満足」の回答が得られなかった。その他の道路に関する項目についても満足度は低く、大慈寺地区では道路交通に関する生活環境について課題があると考えられる。

全体的に、満足・やや満足で過半数を占めた項目は全21項目中4項目とかなり少ないが、総合評価で満足またはやや満足との回答者は約半数おり、回答者の価値観にばらつきがあると判断できる。

(2) 生活環境評価と総合満足度の関連性

表1 回答者属性

(%)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
男性	0.4	1.3	3.0	7.6	8.9	12.7	13.1
女性	0.0	2.1	9.3	12.7	9.7	9.7	9.3
未回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4

(N=237)

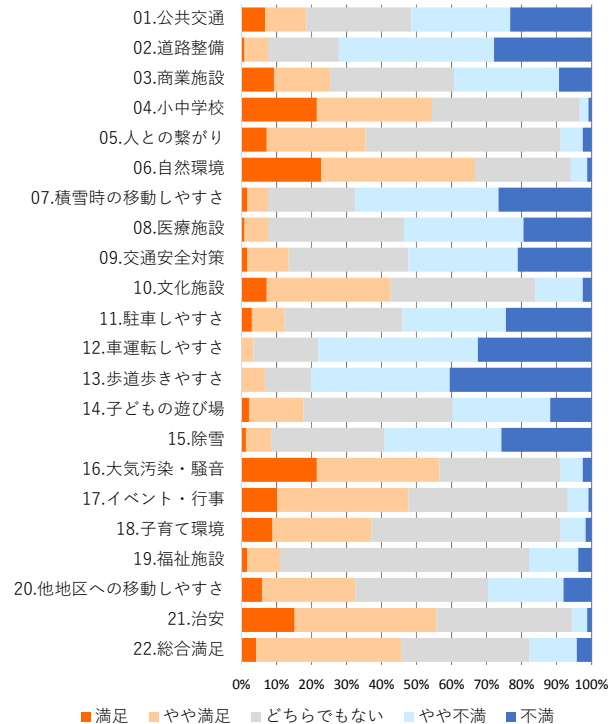


図2 大慈寺地区住民による生活環境評価結果

表2は、総合的な満足度を従属変数に、各生活環境項目を独立変数としてロジスティック回帰分析を実施し得られた調整オッズ比である。本節では、全ての有効回答(n=237)を分析対象として得られた結果について述べる。

分析の結果、治安、商業施設の充実度において、99%または95%信頼区間で有意性が確認されたものの、それ以外の19項目には有意性が示されなかったことから、総合的な満足度に関連する生活環境項目は非常に少ないと判断できるとともに、生活環境に対する大慈寺地区の住民の評価は多様であると理解できる。

(3) SCによる関連性への影響

表2の右側は、SC項目への回答結果に基づくクラスター分析の結果から、SCが高いと思われる回答者群（以下「高SC群」）と低いと思われる回答者群（以下「低SC群」）に分類し、各々の回答者群を対象にロジスティック回帰分析を行った結果を示している。高SC群と低SC群では、総合満足度と有意な関連性が示された生活環境項目が異なる結果が得られ、SCにより総合満足度に影響する生活環境項目に差が生じることが確認

された。

高SC群では、商業施設の充実度で総合評価との有意な関連性が示され、低SC群では駐車しやすさ、治安で総合評価との有意な関連性が示された。低SC群における駐車しやすさの調整オッズ比は12.19と、他項目に比して高い関連性が示され、大慈寺地区で開催されたワークショップで示された道路環境に対する問題意識の高さが確認できる結果が得られた。

4. おわりに

本研究では、大慈寺地区で歴史的街並みを活かしたまちづくりを進めるにあたっての住民の意識を、生活環境評価と地域に対する総合満足度を関連付けながら分析した。関連のある項目が見られたものの、全体的に総合満足度に影響する項目は少ないこと、回答者のSCにより総合満足度に影響する項目に差があることが確認され、地域内での意見、価値観の多様性が示唆される結果が得られた。

今後は個人属性による分析や地区外に居住する人へのアンケート調査結果の分析を進め、問題意識の高いと考えられる道路環境の整備を中心に、大慈寺地区の住民にとってより満足できるまちづくりについて検討を進める予定である。

参考文献

- 1) 高橋瑛子, 谷本真佑, 佐藤史弥, 南 正昭: 歴史的街並みを活かしたまちづくりに関する住民意識調査～大慈寺地区を対象として～, 土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集, IV-22, 2018.
- 2) 船木 航, 藤原和也, 谷本真佑: 居住地区を考慮した土崎地区に対する住民意識分析, 2015 年度日本都市計画学会東北支部研究発表会アブストラクト集, 2016.

表 2 生活環境評価と総合満足度との関連性

	全体 N=237	SC 群別	
		高SC群 N=101	低SC群 N=136
公共交通の利便性	1.36	0.35	1.66
道路整備	7.45	1.2E+09	1.60
商業施設の充実度	2.94	7.09	1.65
小中学校の充実度	0.75	0.67	0.71
地域の人とのつながり	2.22	1.61	4.89
自然環境	1.79	1.77	2.54
積雪時の移動しやすさ	2.72	0.65	2.45
医療施設の充実	1.55	7.40	0.78
交通安全対策	1.61	2.50	1.03
文化施設の充実度	1.56	2.29	1.03
駐車しやすさ	2.65	1.17	12.19
車の運転しやすさ	1.42	0.18	1.1E+08
歩道の歩きやすさ	1.91	0.38	9.91
子どもの遊び場の充実度	0.49	0.45	0.48
除雪	2.01	16.03	4.54
大気汚染や騒音の少なさ	1.43	0.42	2.10
イベント・行事の充実	1.88	2.67	1.57
子育て環境	2.17	2.39	4.19
福祉施設の充実	2.01	1.63	1.00
他地区への移動しやすさ	2.29	3.58	2.53
治安	3.36	3.83	7.19
(定数項)	0.03	0.04	0.02

■ 95%信頼区間で有意性が示された値
 ■ 99%信頼区間で有意性が示された値